「隅の親石となった民」　2026 年 01 月 21 日

だから、一切の悪意、一切の偽り、偽善、妬み、一切の悪口を捨て去って、生まれたばかりの乳飲み子のように、理に適った、混じりけのない乳を慕い求めなさい。これによって成長し、救われるようになるためです。あなたがたは、主が恵み深い方だということを味わったはずです。主のもとに来なさい。主は、人々からは捨てられましたが、神によって選ばれた、尊い、生ける石です。あなたがた自身も生ける石として、霊の家に造り上げられるようにしなさい。聖なる祭司となって神に喜んで受け入れられる霊のいけにえを、イエス・キリストを通して献げるためです。聖書にこう書いてあるからです。「見よ、私は（、）選ばれた尊い隅の親石を/シオンに置く。これを信じる者は、決して恥を受けることはない。」それゆえ、この石は、信じているあなたがたには掛けがえのないものですが、信じない者（たち）にとっては、「家を建てる者の捨てた石/これが隅の親石となった」のであり、また、「つまずきの石/妨げの岩」なのです。彼らがつまずくのは、御言葉に従わないからであって、そうなるように定められていたのです。（Ｉペトロ 2：1～8）

第二イザヤは、紀元前 6 世紀、バビロン捕囚の縄目を解かれ、祖国エルサレムへの帰還が許された時、神の変わらない愛を、「主の言葉は永遠に変わることがない」と歌った。Ｉペトロの著者は、この言葉から、主の永遠に変わることがない愛は、あなたがたに告げ知らされた福音であると説く。「だから、一切の悪意、一切の偽り、偽善、妬み、一切の悪口を捨て去って、生まれたばかりの乳飲み子のように、理に適った、混じりけのない乳を慕い求めなさい。これによって成長し、救われるようになるためです。あなたがたは、主が恵み深い方だということを味わったはずです。主のもとに来なさい」と勧める。

主イエスは人々からは見捨てられ、十字架の死を遂げられたが、神によって選ばれた、尊い、生ける石である。この生ける石である主イエスに結び付き、あなたがた自身も生ける石として用いられ、霊の家に造り上げられるようにしなさい。そして、聖なる祭司となって神に喜んで受け入れられる霊のいけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。著者は、祭司になって、キリストを通して、霊のいけにえを献げ、霊の家・教会を造り上げることに励みなさいと励ます。聖書に、「見よ、私は選ばれた尊い隅の親石を/シオンに置く。これを信じる者は、決して恥を受けることはない」と書いてある。これは、イザヤ書 28 章 16 節「それゆえ、主なる神はこう言われる。『見よ、私はシオンに一つの石を据える。これは試みを経た石/確かな基礎となる貴い隅の親石。信じる者は、慌てることはない』」からの引用である。神はシオンに貴い親石を置き、定礎とする。この親石を信じる者は、決して恥を受けることはない。著者は「この石は、信じているあなたが たには掛けがえのないものですが、信じない者たちにとっては、『家を建てる者の捨てた石/これが隅の親石となった』のであり、また、『つまずきの石/妨げの岩』なのです」と言う。この石は、信じない者にとっては、家を建てる石工が不要な石として「捨てた石」で、「つまずきの石、妨げの岩」と見なされるが、主イエスを信じているあなたがたにはかけがえのない、家の土台となる「隅の親石」である。パウロは「十字架の言葉は、滅びゆく者には愚かなものですが、私たち救われる者には神の力です（Ｉコリント 1:18)」と書いている。主イエスは、人を救いと滅びに分ける分水嶺のような方である。主イエスの十字架につまずく人は、御言葉を信じないからであって、そのように定められていたと断じている。